

なごや生きもの一斉調査2017 淡水貝編

～なごやで探そう!水の中の妖精～

なごや生物多様性保全活動協議会では9月1日～3日、市内28カ所の公園や緑地などで淡水貝の生息状況を調査しました。期間中は、専門家や市民ら合わせて219人が参加し、生物多様性の保全に向けた生きもの情報を収集しました。



淡水貝って?

河川、池、沼、湖などの淡水に生息する生きもの。名古屋市では、マルタニシ、オオタニシ、ヌマガイなどが絶滅危惧種とされています。

身近で見つかる淡水貝

調査当日、各場所に集まった参加者たちは、スタッフの指導のもと手分けして調査を開始。調査には、トレイ、ふるい、ルーベなどを使用しました。淡水貝は、浅瀬の砂泥の中や表面、枯れ葉や小石の裏などに棲んでいます。砂泥の中を探るときは、ふるいですくい上げて、水のキレイなところで、足跡を辿り、じっくり目を凝らせばすぐに見つかりました。さっそく貝を見つけた子どもたちは「これは何貝ですか?」「これって生きてるの?」と興味津々でした。

市内から18種類発見!

その後、採取した淡水貝を生きているかどうかや、種類ごとに分け、個数を記録していきました。表面に螺旋(横筋)と縦筋(縦筋)の入っている『チリメンカワナ』や、横筋だけ入った『カワナ』、小型の卵円錐形の『ヒメタニシ』など、今回の調査で発見した淡水貝は18種類にも。なかには、数ミリ程度の貝もありました。参加者らは「身近な場所でこんなに貝がいるとは思わなかった」「貝を探すのが楽しかった」と笑顔いっぱいでした。

調査結果はさらに精査をし、報告する予定です。



貝はどこかな? 目を凝らして調査中。



大小さまざまな淡水貝が見つかりました!

採取した貝を仕分けしたら、みんなで個数調べ!



カワナとチリメンカワナは模様が違ふよ!

新たに特定外来生物が指定されました

平成29年11月21日に、ガー科など16種類が新たに特定外来生物に指定されました。これら16種類は、飼養、運搬、放出、輸入、譲渡等が規制されます。規制が始まるのは、シリアカヒヨドリ、ヒゲカビチョウ、アカホシゴマダラ、クビアカツヤカミキリ、マルバネクワガタ類については、平成30年1月15日から、ガー科全種及びガー科の交雑種については平成30年4月1日からです。これらの特定外来生物を飼養している方は、規制開始後6ヶ月以内に飼養等許可を受けることで、これからも飼い続けることができます。詳しくは環境省のウェブサイトをご確認ください。
<http://www.env.go.jp/press/104814.html>
<http://www.env.go.jp/nature/intro/11law/shiyou/flow.html#sec2> (特定外来生物の飼養等に関する手続)

なごや外来種を考える会

なごや外来種を考える会(略称:なごらい)は2010年6月に「なごや環境大学」の受講生を中心に設立しました。「外来種問題全般を考える」会は今まで周りになかったので私達がやろうと思いました。メンバーで話し合っ、会のモットーを①いたずらに外来種駆除をせずに生態系を大事にする②啓発活動を重視する③他団体と積極的にコラボすると決めてスタートしました。

最初の年は皆で市内の緑地などを歩き回って外来種さがしを続け、問題点を話し合い、翌年からは一般参加を募集して「外来種勉強会」や「東山植物園内の外来樹木駆除活動」を企画、次にホームページを製作して情報発信を始めました。3年目には「なごや生物多様性保全活動協議会」へ入会し、特定外来生物オオキンケイギクの市内一斉調査を実現し、市内分布図も製作して頂きました。コラボの力はやはりすごいです。



他に「外来昆虫採取会」「オオキンケイギク駆除実験」「外来樹木駆除実験(塩盛り法)」「アメリカザリガニの駆除実験と食べる会」などを行っています。今年はアメリカザリガニの他にアカミミガメカレーやヒメジョオンの天ぷら等も「食べる会」を行いました。アメリカザリガニの塩茹ではおいしいですよ。来年はウシガエル等を食べる会も計画中です。興味のある方はご連絡を下さい。
 メールアドレス: nonaka@kato-ken.co.jp

掲示板

平成30年度

なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集

なごや生物多様性保全活動協議会では、自然環境保全の後継者育成を目的とする活動や新たに取り組まれる保全活動を支援することで、次世代の担い手づくりやこれからの自然保全活動の創出を応援しています。平成30年1月15日から、平成30年度の助成団体を募集します。助成金交付要綱など、詳しくは協議会のウェブサイトをご覧ください。

協議会ウェブサイト <http://www.bdnagoya.jp>

問い合わせ・申し込み先

発行:名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地 (地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分)

電話 052-831-8104(平日 8:45~17:30) FAX 052-839-1695

E-mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

なごや生物多様性センターウェブサイト <http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity>

名古屋市公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/> 検索

なごや生物多様性保全活動協議会 <http://www.bdnagoya.jp>

生きものシンフォニーのバックナンバーは、なごや生物多様性センターのウェブサイトでご覧いただけます。

生きものシンフォニー

いのちかがやくなごや

平成29年12月 23号

特集

第4回 なごや生物多様性センターまつり

つながる つなげる いのちのきずな

第4回なごや生物多様性センターまつりが10月28日(土)に開催されました。あいにくの雨模様でしたが、雨空に負けない元気な和太鼓ライブでまつりはスタート。来場者は、パネル展示やブース出展など、多彩な体験を通して生きものの世界を楽しく学ぶ時間を過ごしていました。

また、今年の生物多様性ユースひろばでは「交流タイム」を企画。日頃の活動成果を熱心に説明していました。



循環型社会を目指す マスコットキャラクター 「シャチのジュンちゃん」



生物多様性 ユースひろば 同時開催



CONTENTS

特集

第4回 なごや生物多様性センターまつり 同時開催 生物多様性ユースひろば

P1~4

TOPICS なごや生きもの一斉調査2017 ~淡水貝編~

P5

活動紹介 なごや外来種を考える会

P6

掲示板 平成30年度 なごや生物多様性保全活動協議会助成金 助成団体募集

P6

なごや生物多様性センターまつり

つながる つなげる いのちのきずな



「もったいない」を「ありがとう」に！
ご家庭にある消費しない食品をお持ちください！
名古屋市環境局資源化推進室



飼う前に考えて
名古屋市動物愛護センター



みんなでやろまい！
なごやの森づくり
なごやの森づくりパートナーシップ連絡会



レジ袋の削減で生きものを守ろう！
2R推進実行委員会
名古屋市環境局減量推進室



竹島のまわりの生き物たち
蒲郡市竹島水族館



猪高の竹で竹クラフト
名東自然倶楽部



外来種ってなんだろう？
動物バスル、カメラズルに挑戦！
名古屋市環境局なごや生物多様性センター



愛岐の森の里山づくり
名古屋市愛岐岐分場



シデコブシ・マメナシなど自然遺産の
次世代育成に向けての活動紹介
愛知守山自然の会



キュレーターがいる動物園
～日本モンキーセンターのとりくみ～
公益財団法人 日本モンキーセンター



チリメンモンスターをさがせ！
「あいちの海」グリーンマップ
山崎川グリーンマップ



身近な生きもので生物多様性発見！
株式会社社地域環境計画 名古屋支社

身近な生きもの世界は、まだまだ知らないことや不思議なことがいっぱい！各種展示を見たり、クラフトづくりをしたり、実際に生きものと触れ合うなど、子どもから大人まで楽しんで学べる1日となりました。



外来種ブラックバスの
試食コーナー
なごや生物多様性保全活動協議会



釣って分けよう！分別ゲーム！
名古屋市環境局作業課



クモ、網、そのふしぎ
中部蜘蛛懇談会



三河湾の干潟の生きものたち
豊橋市自然史博物館



生物多様性を守るため
MY行動宣言しよう！
環境省中部地方環境事務所



アカペラライブ
千種高等学校 アカペラ同好会(代表)
美しいハーモニーで
会場を盛り上げました♪

なごや 生きものトーク！

「新発見！名古屋の淡水貝」
出演：川瀬基弘さん
(愛知みずほ大学人間科学部講師)
市内・県内で行った一斉調査では、
珍しい種の発見も!!その成果をも
とに、淡水貝のそれぞれの特徴な
どをお話していただきました。



出張マーガレット・マルシェ
天白区障害者自立支援連絡協議会



ダンゴムシ&竹伐り&
なごやの大地の生い立ち
(特非)なごや東山の森づくりの会



和太鼓ライブ
南光中学校 和太鼓踊り部
雨空も吹き飛ばすような
迫力の演奏と華麗な舞
を披露!!



生きものの絵を
たくさん描いたよ！
お絵かき収集車
名古屋市天白環境事業所



体験しよう！水質モニタリング
名古屋市環境局地域環境対策課



小さな「有名」生物の展示と観察
名古屋市環境科学調査センター



名古屋昆虫同好会展
名古屋昆虫同好会

和太鼓ライブ
南光中学校 和太鼓踊り部
雨空も吹き飛ばすような
迫力の演奏と華麗な舞
を披露!!



東山動植物園の秋
名古屋市東山動植物園



エコライブのすすめ
名古屋市環境局環境活動推進課



体験しよう！水質モニタリング
名古屋市環境局地域環境対策課



小さな「有名」生物の展示と観察
名古屋市環境科学調査センター



名古屋昆虫同好会展
名古屋昆虫同好会



ウミガメからのメッセージ
～名古屋港水族館の取り組み～
名古屋港水族館



生物多様性の宝庫 藤前干潟
NPO法人 藤前干潟を守る会



エコバルなごやワークショップ
名古屋市環境学習センター エコバルなごや
「なごや環境大学」実行委員会



ザリガニの研究
白玉星卓と八丁トボを守る島田湿地の会



外堀ヒメボタルのキラメキ
名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち



ついに捕獲！
名古屋城のアリゲーターガー
日本カメ自然誌研究会



名城大学のサークル 野間研(通称)
を大解剖！
名城大学 野生動物生態研究会



藤前干潟ふれあい事業のご紹介
藤前干潟ふれあい事業実行委員会



モスキート音で耳年齢を
チェックしよう！
名古屋市環境局大気環境対策課



活動紹介パネル
なごや外来種を考える会



しらべ、まもろう！なごやの生きもの
なごや生物多様性保全活動協議会



DNAバーコーディング：
東山動植物園の生きものたちの
DNA多様性
名古屋市立大学生物多様性研究センター
名古屋市東山動植物園

生物多様性 ユースひろば

同時開催

中学・高校の生物部などの生徒たちが、日頃の活動成果を紹介するユースひろばでは、展示の見せ方や、ちょっとした体験など、来場者が楽しめる工夫が随所に見られました。また、自分たちの研究内容を丁寧に説明する姿も印象的で、たくさんの笑顔に包まれました。今年度は創意工夫を講ずるため、各校に賞を授与しました。

緑高等学校 理科部

地道な努力が実りつつあるで賞



オリジナル生物図鑑(大高緑地編)に
チャレンジ！
大高緑地の南西エリアを中心に生物調査
を実施。これまでに286種類を確認でき
た。まずは、この調査地での図鑑完成を
目指そうです。



名古屋市立向陽高等学校科学部・
国際科学科研究発表
ウツボカズラやブルーギル、タイワンシ
ミなど5つの研究内容を紹介します。生徒
たちは各担当の内容を精一杯アピールして
いました。



クモ卵における胚発生過程の研究
クモ卵を用いた研究成果を発表。さら
に今年は、クモクイズがパワーアップ
して登場！来場者も楽しんでいる様子
でした。



山崎川を中心としたボランティアと
生物調査活動
山崎川での活動では、色々な方々との
出会いも体験。この繋がりを大切に、
協力し合って山崎川の生態系を守って
いきたいとのことでした。



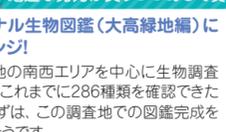
庄内川を中心とした環境活動
月1回行う庄内川の生態系調査のま
とめや、昆虫班・骨班に分かれた標本
や骨などを展示。パラエティに富んだ
内容を発表しました。



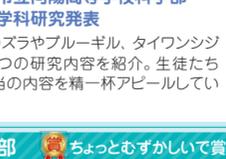
活動紹介パネル
なごや外来種を考える会

天白高等学校 自然科学部

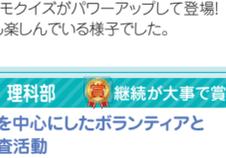
みんなで楽しくやっているで賞



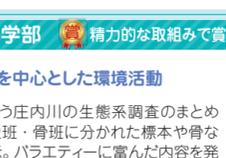
ザリガニの研究、ヘビトボの研究、
合宿の報告
ザリガニ展示はもとより、ザリガニの嗜好
性や、断食させてどれだけ生きられるの
か…というユニークな研究に、驚きの声
が上がりました。



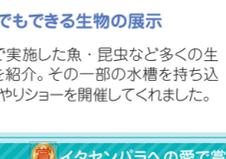
秋のむし
虫の魅力や伝えようという工夫した展
示に、子ども大人も釘づけ！積極的に説
明する生徒たちの姿は、とても生き
生きと見られました。



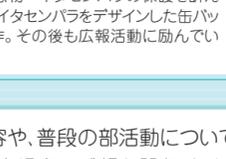
クモ卵における胚発生過程の研究
クモ卵を用いた研究成果を発表。さら
に今年は、クモクイズがパワーアップ
して登場！来場者も楽しんでいる様子
でした。



山崎川を中心としたボランティアと
生物調査活動
山崎川での活動では、色々な方々との
出会いも体験。この繋がりを大切に、
協力し合って山崎川の生態系を守って
いきたいとのことでした。



庄内川を中心とした環境活動
月1回行う庄内川の生態系調査のま
とめや、昆虫班・骨班に分かれた標本
や骨などを展示。パラエティに富んだ
内容を発表しました。



活動紹介パネル
なごや外来種を考える会

向陽高等学校 科学部・国際科学科

いろいろなことにCHALLENGEしているで賞



名古屋市立向陽高等学校科学部・
国際科学科研究発表
ウツボカズラやブルーギル、タイワンシ
ミなど5つの研究内容を紹介します。生徒
たちは各担当の内容を精一杯アピールして
いました。



クモ卵における胚発生過程の研究
クモ卵を用いた研究成果を発表。さら
に今年は、クモクイズがパワーアップ
して登場！来場者も楽しんでいる様子
でした。



山崎川を中心としたボランティアと
生物調査活動
山崎川での活動では、色々な方々との
出会いも体験。この繋がりを大切に、
協力し合って山崎川の生態系を守って
いきたいとのことでした。



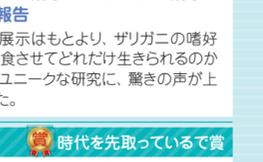
庄内川を中心とした環境活動
月1回行う庄内川の生態系調査のま
とめや、昆虫班・骨班に分かれた標本
や骨などを展示。パラエティに富んだ
内容を発表しました。



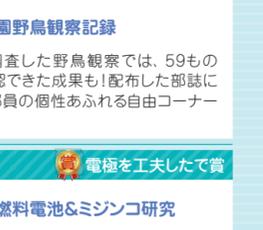
活動紹介パネル
なごや外来種を考える会

栄徳高等学校 生物部

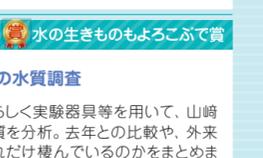
時代を先取っているで賞



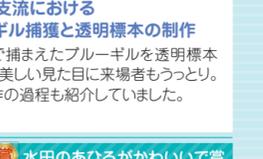
秋のむし
虫の魅力や伝えようという工夫した展
示に、子ども大人も釘づけ！積極的に説
明する生徒たちの姿は、とても生き
生きと見られました。



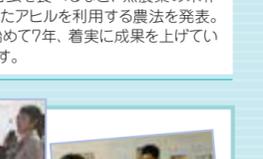
クモ卵における胚発生過程の研究
クモ卵を用いた研究成果を発表。さら
に今年は、クモクイズがパワーアップ
して登場！来場者も楽しんでいる様子
でした。



山崎川を中心としたボランティアと
生物調査活動
山崎川での活動では、色々な方々との
出会いも体験。この繋がりを大切に、
協力し合って山崎川の生態系を守って
いきたいとのことでした。



庄内川を中心とした環境活動
月1回行う庄内川の生態系調査のま
とめや、昆虫班・骨班に分かれた標本
や骨などを展示。パラエティに富んだ
内容を発表しました。



活動紹介パネル
なごや外来種を考える会

交流 タイム

展示内容や、普段の部活動についての取り組みと成果を発表。来場者の感想も聞き、より多くの人に見てもらおうと一生懸命PRしました。

